

丹沢山地におけるニホンジカ保護管理 ～ワイルドライフレンジャー導入の事例～

羽太博樹（神奈川県自然環境保全センター）

1 ワイルドライフレンジャー導入の背景

第2次神奈川県ニホンジカ保護管理計画（平成19～23年度）では、植生回復目的の管理捕獲の通年実施やメスジカ捕獲などの取組強化を図り、継続的に捕獲を実施した地域で生息密度が減少するなどの成果を得たが、一方で、管理捕獲の実施が困難な場所等での高密度状態の継続や密度上昇など、様々な課題も明らかになった。

これまで管理捕獲で採用されてきた猟犬を使った巻狩りは、比較的広い範囲で生息密度を低下させるのに適している。しかし、登山者等の安全配慮、現場までの到達距離、地形の急峻さなどの制約から実施できる場所は限定される。こうした制約から生じる捕獲困難地での効率的な捕獲手法や実施体制が強く求められる状況となった。

平成24年度にスタートした第3次神奈川県ニホンジカ保護管理計画では、シカ捕獲に専従的に携わるハンターを「ワイルドライフレンジャー」として自然環境保全センターに配置し、山稜部や山頂部など従来の手法による管理捕獲の実施が困難な場所を中心に、少人数による捕獲など、現地条件やシカ生息状況に適合した手法を検討、実施していくこととした。

2 ワイルドライフレンジャーの配置

平成24年度から労働者派遣業法に基づく人材派遣委託契約により、以下の要件に沿ってワイルドライフレンジャー3名（平成26年度は5名）を自然環境保全センターに配置。

- ・野生動物の種の判別、生態等に関する基礎的知識
- ・狩猟免許・猟銃等所持、わな猟免許の所持、シカ管理捕獲従事経験
- ・その他（普通自動車運転免許、基礎的登山技術、県事業への理解、PC等機器操作）

3 ワイルドライフレンジャーの業務

(1) ニホンジカ管理捕獲手法の検討・実施

丹沢山地の山稜線部等において、安全性、効率性を考慮しながら、捕獲適地の選定、捕獲手法の検討、捕獲を行う。

(2) 委託管理捕獲の指導監督

県が業務委託するシカの管理捕獲や生息状況調査の従事者に対し指導監督を行う。

(3) シカ捕獲に関する情報整理・分析

シカ捕獲個体からの試料採取（切歯、腎臓等）、計測（体重、体長等）、記録、切歯による齢査定及びシカ目撃情報のとりまとめを行う。

(4) 野生動物保護管理業務全般

その他野生生物課が所管する野生動物保護管理に関する業務を補佐する。

4 平成25年度の活動状況・成果

(1) シカ管理捕獲手法の検討・実施

- ・18の管理ユニットで、シカの生息状況や現場条件に応じて7つの捕獲手法（忍び

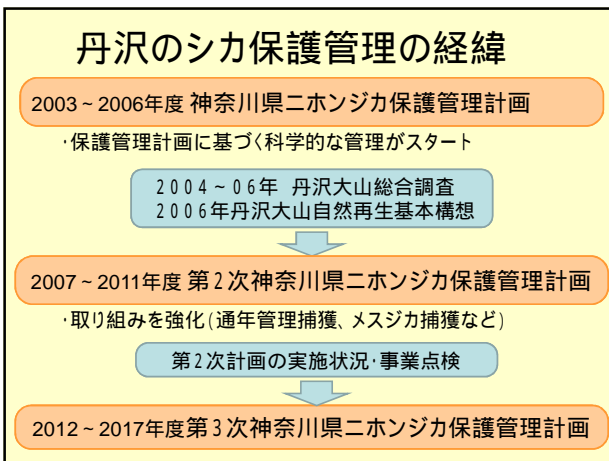
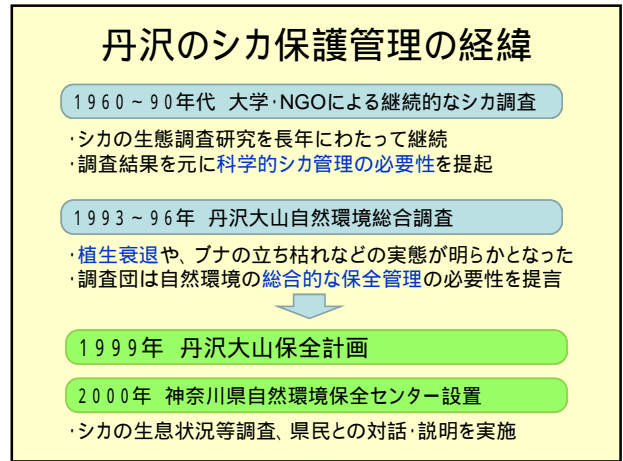
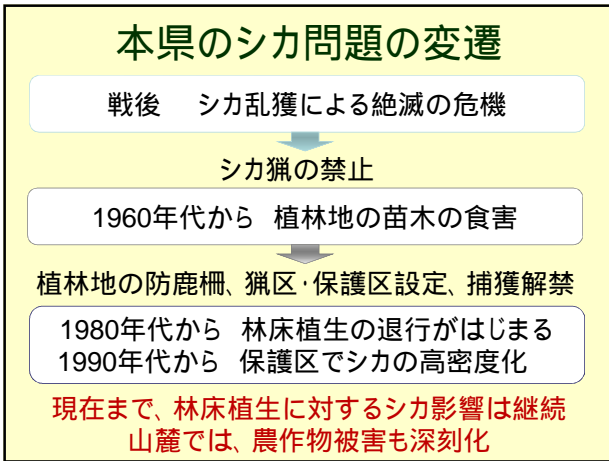
- ・ 猟、流し猟、少人数巻狩り、林道車上狙撃、待ち伏せ猟、足くくりわな、囲いわな) を実施し、各手法の特長や課題、適する時期・場所等を把握
 - ・ 秦野市三廻部と山北町世附で、神奈川県猟友会の捕獲熟練者との協働による猟犬を用いた少人数巻狩りを試行
 - ・ 山北町玄倉の捕獲困難地において、少人数捕獲に精通した NPO 法人への委託により、少人数巻狩りに準じた「追い猟」による試験捕獲を実施
 - ・ 林野庁東京神奈川森林管理署、山北町、松田警察署、一般財団法人自然環境研究センター等の協力を得て、山北町世附で林道車上狙撃を試行
 - ・ 植生保護柵を活用した試験捕獲プロジェクトに協力 (資料 3-2 参照)
 - ・ 連携・協働による捕獲を含めて 177 頭のシカを捕獲 (うちメスジカ 107 頭)
- (2) 委託による管理捕獲の指導監督
- ・ 新規箇所での委託管理捕獲に向けた県猟友会調整への協力支援
 - ・ 巻狩り(組猟)のタツマ配置等の支援、指導
 - ・ 捕獲実施状況記録図の取りまとめの支援、指導
- (3) シカ捕獲に関する情報収集・整理・分析
- ・ 捕獲実施中の目撃状況、生活痕跡、自動カメラ撮影、現地下見、聞き取り情報等によりシカの生息状況等を把握
 - ・ 捕獲個体の外部計測、体重測定、サンプル採取及び処理
 - ・ 捕獲実施データを整理・分析し、H26 年度の取組方向を検討
 - ・ ワイルドライフレンジャー活動の分析結果を自然環境保全センター報告に投稿
- (4) その他、野生動物保護管理業務全般の補佐
- ・ ニホンザル保護管理事業、野生動物救護業務等への協力
 - ・ 野生動物保護管理に関する普及啓発、県民説明、メディア取材等に対応

5 平成 26 年度の活動予定

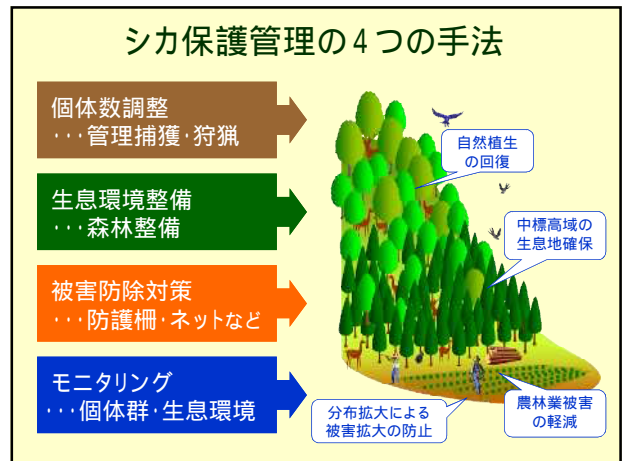
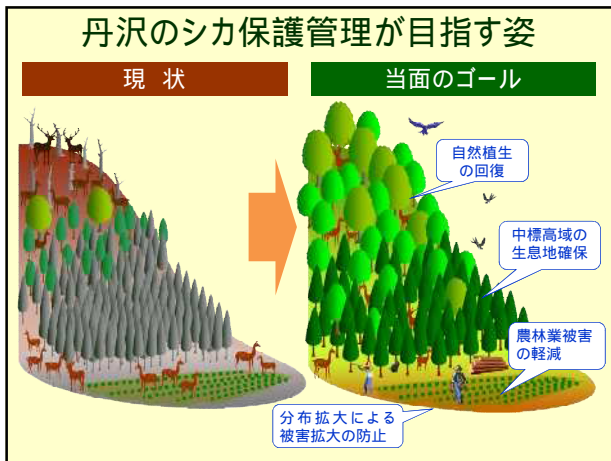
- ・ ワイルドライフレンジャーを 3 名から 5 名 (うち 1 名はチーフワイルドレンジャー) に増員し、より安全かつ効率的に活動を展開
- ・ 管理捕獲があまり行われてこなかった捕獲困難地を中心に、菰釣山や蛭ヶ岳北面など新たな捕獲地を追加し、22 の管理ユニットで管理捕獲を実施
- ・ 捕獲手法は、平成 25 年度までの実施状況を踏まえて、忍び猟、追い出し猟、少人数巻狩りなど、多様な手法による捕獲を、他機関等との連携も含めて試行的に実施
- ・ 実施にあたっては、捕獲及び目撃状況や自動カメラ撮影情報等から、シカの生息状況の季節的変化を予測し、それに応じた時期、場所、手法を選択
- ・ クマの人里出没への対応等、シカ以外の野生動物保護管理業務を補佐

6 今後の課題

- ・ 体制面の強化と雇用形態の安定化
- ・ 効果的に活動するための条件整備
- ・ 将来的な方向の明確化

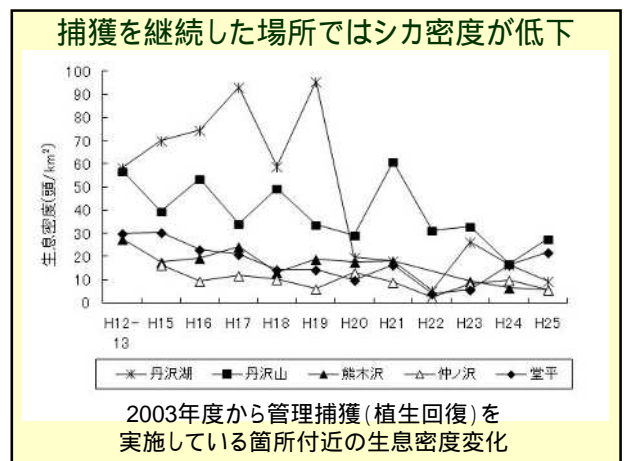
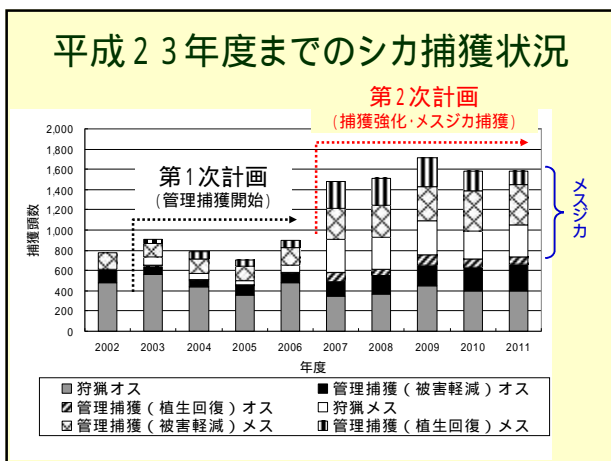
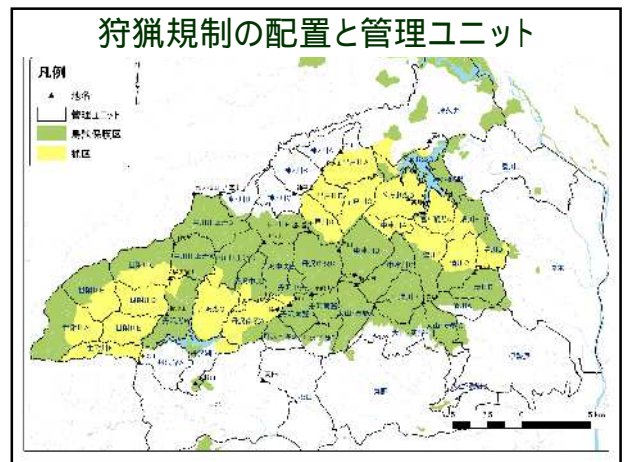


- ### 神奈川県のシカ保護管理の目標
- 1 生物多様性の保全と再生
 - 2 シカの地域個体群の安定的存続
 - 3 農林業被害の軽減
 - 4 分布拡大による被害拡大の防止
第2次計画から



ニホンジカ保護管理の考え方

		個体数管理	生息地管理	被害防除
ニホンジカ保護管理区域	自然植生回復エリア	管理捕獲	植生保護柵設置 土壌流出防止対策	
	生息環境管理エリア	管理捕獲	人工林間伐 混交林誘導	植生保護柵設置
	被害防除対策エリア	管理捕獲 わな捕獲	荒廃地解消 誘引除去	防護柵設置
分布拡大防止区域		分布拡大による被害拡大防止（管理捕獲等）		



【浮き彫りになった課題1】

高標高域でシカ高密度状態が継続



・アプローチや地形条件により大規模巻狩りが困難
 ・少雪化・ミヤマクマザサ分布 冬期もシカ生息可能

【浮き彫りになった課題2】

水源林整備地周辺での生息密度上昇



シカの採食圧で林床植生が生育せず
 森林整備の効果が発揮されない

平成24年度からの新たな取組

- 1 森林管理とシカ管理の一体化
 - ・水源林整備地周辺での管理捕獲
 - ・森林施業とシカ捕獲の連携の試行
- 2 標高の高い山稜部での管理捕獲
 - ・新たな捕獲手法の検討・実施
- 3 シカ捕獲等に従事する専門職員
 = ワイルドライフレンジャーの配置

ニホンジカ保護管理事業の強化(H24～)

		個体数管理	生息地管理	被害防除
自然 植生 回復 エリア	山稜部での管理捕獲	管理捕獲	植生保護柵設置 土壌流出防止対策	
	管理捕獲			
人工 林・ 次生 林	管理捕獲	水源林整備地 周辺管理捕獲	人工林間伐 混交林誘導	植生保護柵 設置
	管理捕獲			
森林とシカの一体的管理				
被害 防除 対策 エリア	管理捕獲 わな捕獲	管理捕獲 わな捕獲	荒廃地解消 誘引除去	防護柵設置
		地域が主体となって取り組む被害防除対策		

ワイルドライフレンジャー設置の背景

猟犬を使った大規模な巻狩りは、
 比較的広い範囲に捕獲圧をかけるのに適する

登山者等の安全、現場への到達距離、地形
 の急峻さなどの制約から、実施できる場所は
 限定
 捕獲が困難な場所で、高密度状態の継続や、
 さらなる密度上昇が発生

捕獲困難地での効率的な捕獲手法と実施体制が
 強く求められる

ワイルドライフレンジャーの設置

労働者派遣業法に基づく人材派遣委託により
 H24～25年度は3名、H26年度は5名を配置

【派遣職員の要件】

野生動物の種判別、生態等に関する基礎知識
 銃猟・わな猟免許、猟銃所持
 シカ管理捕獲の従事経験
 基礎的登山技術、自動車運転、PC等機器操作
 県事業への理解・県民への説明能力

「レンジャーの要件 = 捕獲技術」ではない！

ワイルドライフレンジャーの業務

- 1 シカ管理捕獲手法の検討・実施
山稜部等において、安全・効率を考慮しながら捕獲適地選定、捕獲手法検討、捕獲を実行
- 2 委託管理捕獲の指導監督
県が委託するニホンジカ管理捕獲業務等の安全・確実な実行を支援・指導
- 3 シカ捕獲に関する情報整理・分析
捕獲個体の計測、試料採取、捕獲・目撃記録の取りまとめ・分析等
- 4 野生動物保護管理業務の補佐

【ワイルドライフレンジャーの活動状況】

シカ管理捕獲手法の検討・実施

忍び猟、流し猟など7つの捕獲手法を実施し、各手法の特徴、適する時期・場所、課題等を把握
県猟友会熟練者との協働により、猟犬を用いた少人数巻狩りを試行
丹沢中心部の捕獲困難地で少人数捕獲に精通するNPO法人への委託による試験捕獲を実施
林野庁、町、警察署、専門機関等の協力を得て封鎖した林道での車上狙撃による捕獲を試行
県営牧場の柵を活用した囲いわな捕獲を試行

【ワイルドライフレンジャーの活動状況】

委託管理捕獲の指導監督

H25.6.19に発生した滑落事故の現場対応、事後処理、再発防止策等に協力

新規箇所での委託管理捕獲の実施に向けて、地元関係者との調整を実施

管理捕獲実施時の安全管理、タツマ配置、捕獲個体の計測・試料採取、実施状況記録図の取りまとめ等を支援・指導

【ワイルドライフレンジャーの活動状況】

シカ捕獲に関する情報整理・分析

目撃、生活痕跡、自動カメラ撮影、聞き取り等によりシカの生息状況を把握

捕獲個体の外部計測、体重測定、サンプル採取等を実施

捕獲及び生息状況データを整理・分析し、次年度以降の捕獲活動を検討

ワイルドライフレンジャー活動の分析結果を自然環境保全センター報告等に投稿

【ワイルドライフレンジャーの活動状況】

野生動物保護管理業務全般の補佐

ツキノワグマ人里出没対応、ニホンザル保護管理事業、野生動物救護業務等への協力

野生動物保護管理に関する普及啓発、県民説明、メディア取材等に対応

第3次計画の管理捕獲の実施体制

